Point 012			
30	"This temple is beautiful. How old is it?" "It () in 1343." ① was built ② built ③ was building ④ build 〈北海学園大〉		
31	The music at the dance was away. ① can hear	② can have heard) from far
	③ could be heard	4 could be hearing	〈九州産大〉
32	The temperature in the refrige food <u>sthere</u> <u>swill</u> not <u>so bad</u> .	erator _® should kept low	so that the 〈駿河台大〉
Point 013			
33	I have to find a policeman as soon as possible because my bag ($$).		
	1) has been stealing3) has stolen	2) has been stolen4) was being stolen	〈京都産大〉
34	While the presentation (① was being given ② has been		
Point 014			
35	On his way home, Taro was (① spoken at ③ spoken by) a stranger.② spoken to by④ spoken with by	〈千葉工大〉
36	彼はアラスカへ行ったまま、連絡がありません。 He has never (been/for/from/he/heard/left/since) Alaska. (北海学園大)		
***・「スの土地はギリンズナや、オオこれてもこじのくこいがつのですかり			

- **30** 「この寺院は美しいですね。建てられてからどのくらい経つのですか」 「この寺院は1343年に建てられました」
- 31 ダンスパーティーの音楽は、とても音が大きくて、遠くからでも聞こえた。
- 32 冷蔵庫の中の温度は、中の食べ物が腐らないように、低く保たれなければなりません。
- 33 私のバッグが盗まれたので、できるだけ早く警官を見つけなければならない。

Point 012 受動態の基本 / by A の省略 / 「助動詞+be done」

受動態は、能動態の目的語を主語にして、動詞を be done で表し、能動態の主語は原則として by A の形で be done の後に置く。

30 受動態の基本/by A の省略

基本

- ▶ It(=This temple「この寺院」)が主語であること、および build「建てる」が他動詞であることから受動態の形を選ぶ。
- ▶受動態では、②動作主が一般的な人の場合、②動作主が不明の場合、②動作主が明らかな場合は、by A が省略される。本問は②の場合で、by A が省略されている。
- 31 助動詞がある場合の受動態-「助動詞+be done」

基本

32 should kept → should be kept

標準

- ▶助動詞がある場合の受動態だから、① should kept を should be kept に する。なお、助動詞の後には動詞の原形が来るのであって、keep の過去 (分詞)形の kept が直後に来ることはない。
- ▶本問の so that S will [may / can] do ...の形は「Sが…するために」という目的を表す表現(→ 371)。

Point 013 : 完了形の受動態/進行形の受動態

33 完了形の受動態-have been done

標準

- ▶ ④ was being stolen は過去進行形の受動態。「私のバッグが盗まれつつあったので」では前半の文意とつながらない。
- 34 進行形の受動態-be being done

標準

Point **014 :** 群動詞の受動態

35 群動詞の受動態の考え方

基本

- ▶成句表現で1つの動詞と同じ働きをするものを群動詞というが、群動詞を 受動態にする場合、その群動詞を1つの固まりとして考える。したがって、 A spoke to B「AはBに話しかけた」であれば、その受動態はBwas spoken to by Aとなる。
- 36 群動詞の受動態/完了形の受動態/by A の省略

標準

- ▶ 群動詞 hear from A 「Aから便りがある」(→758)の受動態, 完了形の受動態(→33), by A の省略(→30)という3つのポイントを含んだ出題。
- 34 プレゼンテーションが行われている間、教師たちはメモを取り続けた。
- 35 家に帰る途中、タロウは見知らぬ人に話しかけられた。

Point 015

37 To tell the truth, I'm not much () in your story.

〈東京経済大〉

38 彼女は帰宅の途中でにわか雨にあった。

 $\Box\Box\Box$ She was caught (a / in / on / her / way / shower) home.

〈東洋大〉

Point 015 by 以外の前置詞と結びつく be done 表現

be done の表現には、by 以外の前置詞と結びついて、成句的な意味を表すものがある。この種の表現は、受動態というよりも、過去分詞を形容詞として考え、全体をイディオム表現ととらえる方が自然である。

37 be interested in A「Aに興味がある」

標準

38 be caught in A 「A (雨や交通渋滞など) にあう」

標準

整理 4 by 以外の前置詞と結びつく be done 表現

• be interested in A 「Aに興味がある」

Paul *is interested in* astronomy. (ポールは天文学に興味がある)

• be known to A 「Aに知られている」

The song *is known to* all Japanese. (その歌はすべての日本人に知られている)

ullet be covered with A [A [A [A [A [A [A [A] [

The top of the desk *was covered with* dust. (その机の上はほこりでおおわれていた)

• be caught in A 「A(雨や交通渋滞など)にあう」

We were caught in a traffic jam during rush hour on Friday. (私たちは金曜日のラッシュアワーで交通渋滞にあった)

• be satisfied with A [Aに満足している]

They were satisfied with their new house.

(彼らは新しい家に満足していた)